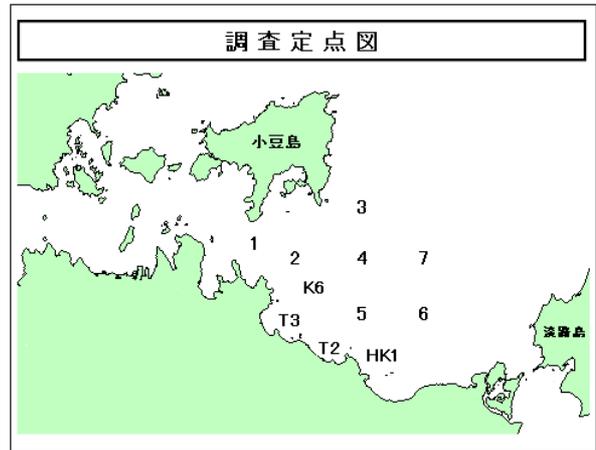


# カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2014. 8-1号)

香川県水産試験場 益井  
TEL: 087-843-6511

調査日: 2014年8月1日  
調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳  
調査定点: 播磨灘11定点(右図)

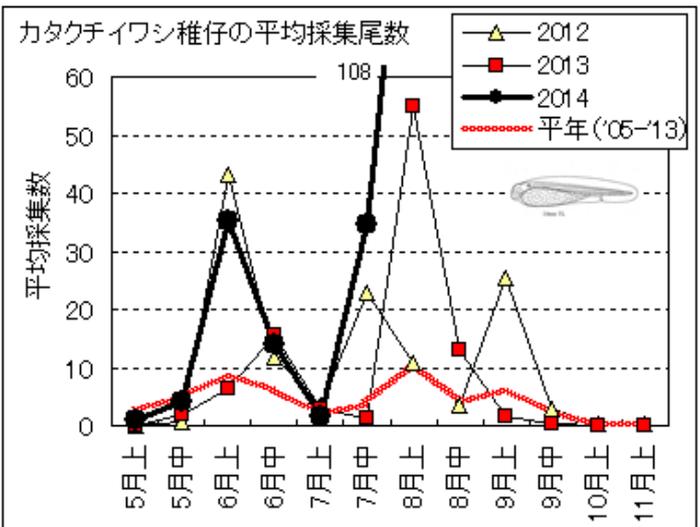
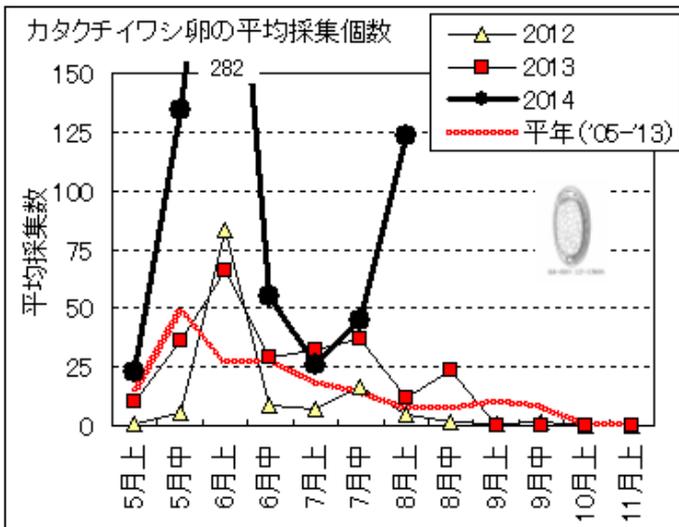


## 【カタクチ卵】 定点別出現数

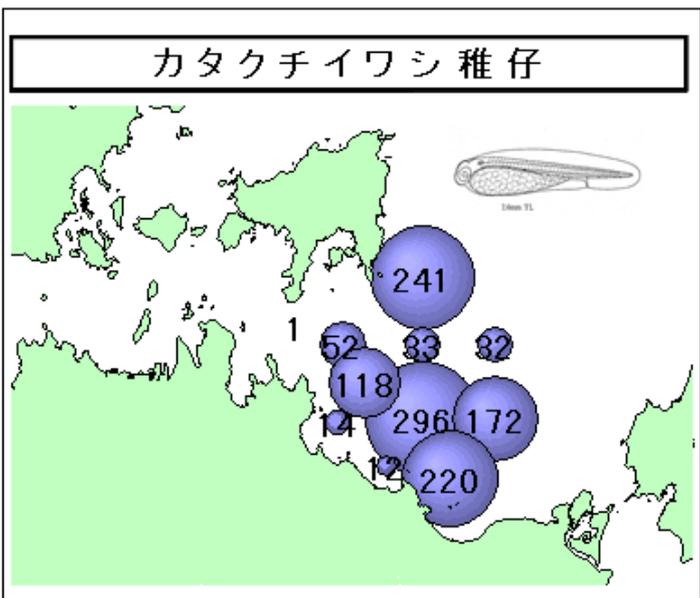
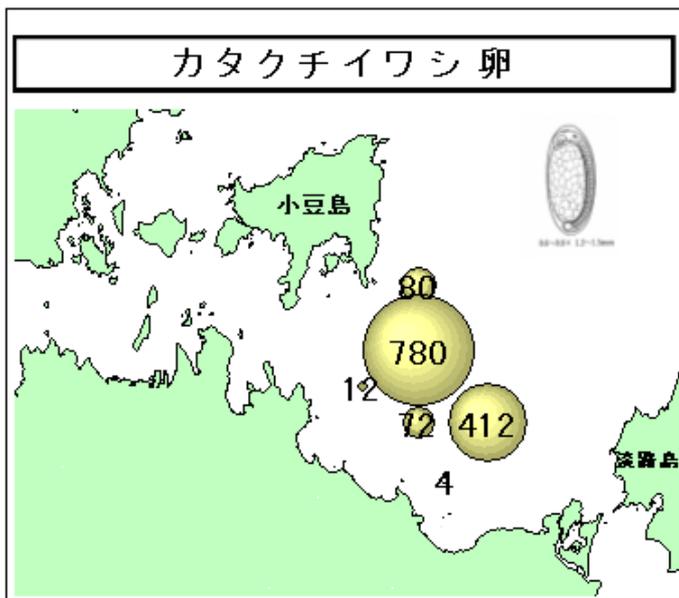
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2012.8.3	0	1	7	0	22	0	0	24	0	0	1	5.0
2013.8.1	0	0	29	89	4	4	0	1	0	0	0	11.5
<b>2014.8.1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>80</b>	<b>780</b>	<b>72</b>	<b>412</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>12</b>	<b>123.6</b>

## 【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2012.8.3	2	33	9	7	14	4	13	5	2	1	29	10.8
2013.8.1	0	17	237	261	21	41	25	1	0	0	0	54.8
<b>2014.8.1</b>	<b>1</b>	<b>52</b>	<b>241</b>	<b>33</b>	<b>296</b>	<b>172</b>	<b>32</b>	<b>220</b>	<b>12</b>	<b>14</b>	<b>118</b>	<b>108.3</b>

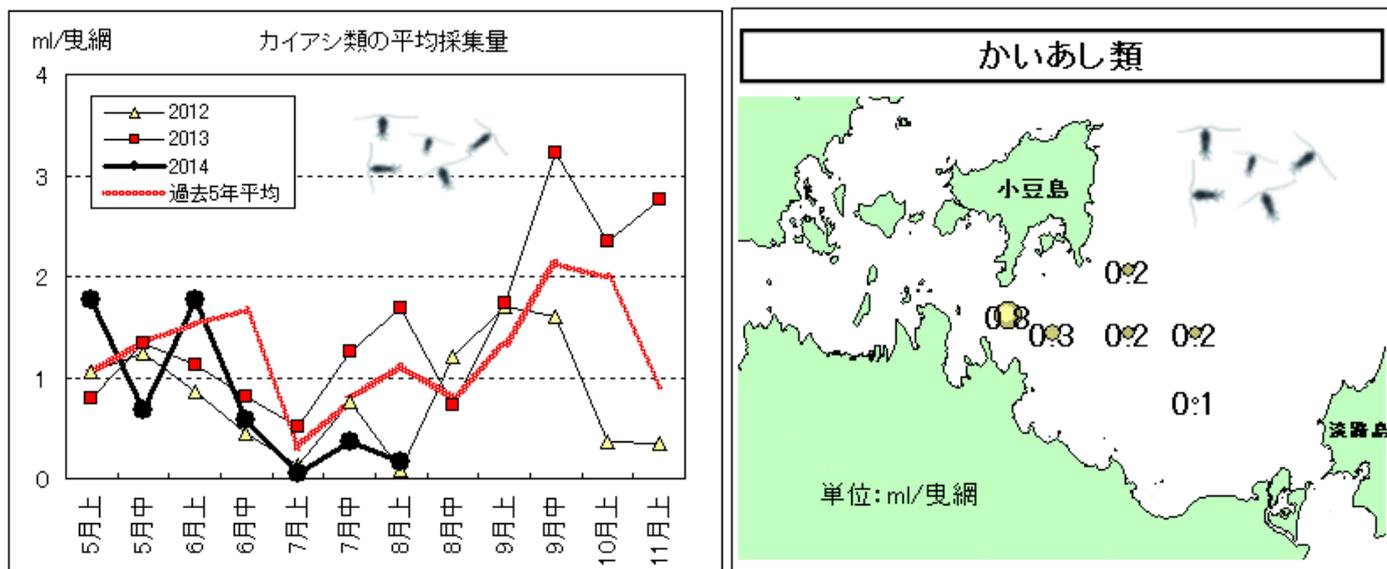


\* グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を表す。



播磨灘11定点における卵の平均出現数は約124個で、前回(7月16日)から増加し、前年および平年(05-13年の平均)を大幅に上回りました。また、稚仔についても平均出現数が約108尾と、多かった前回をさらに上回り、2005年以降で最も多い採集数となりました。卵は沖合に集中していたのに対して、稚仔は広範囲に分布していました。餌料生物として重要なカイアシ類は依然少ない状況です。

【参考】



カイアシ類採集量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。  
<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>

※次回の調査は8月19日に実施予定です。